



そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをして、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。(マルコ7:33-35)

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ろう者伝道部
〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20
TEL 03-3918-5935
発行者 井桁正巳
編集者 五島靖子
タイトルバック写真 山中和明

「魅力あるリーダーになる為に」

〇〇依存から自立を経て

相互依存関係へ

「もしひとりなら、打ち負かされても、ふたりなら立ち向かえる。三つ撚りの糸は簡単には切れない。」
伝道者の書 四章十二節

「依存」とは、「相互依存」とは違った意味を持ちます。「依存」を簡単に説明すると、例えば、自ら行動するのではなく誰かがやってくれるとか、こうなったのはあなたのせいだ…といった、他人に依存する考え方。教会をはじめとして、他人や組織のような、自分以外の存在がなくては生きていけない状態です。求めていたものが、愛情であったり、保護であったり、さまざまですが、自分以外のものに寄りかかった状態であり、悪化すると依存症となり精神的な意味での不健全な信仰だとみなされることもあります。

「自立」とは、この「依存」の対義語であり、自分以外の者への従属を離れることを指しています。何かに寄りかかることなく、独り立ちをし、他の者のサポートがなくても存在していられることを指しています。私がやります。…私にはできません。…私の責任です。といった、他人に左右されない自尊心を持ちますが、人に信頼し委ねるよりも自分でやった方が早いといった行動になります。自立していても、いずれは限界が来



山形聾者キリスト教会

牧師 松本 英二

自立確立が相互依存に向かう大事なステップとなる為に、自分の選択を意識して言葉にし、行動し、相手を理解する努力を続けることが必要です。

「相互依存」とは、お互いの相違部分や、許せない部分を認め合い、良い部分以外も受け入れ、愛し合っている状態が相互依存です。また伝道者の書四章十二節に書かれているように、他人と有意義な関係を築くことができ、他人との違いをバネにして力を発揮できる状態です。

「私も勝つ、あなたも勝つ」という考えを持ち、理解に徹し、そして理解される、また、…私たちはできる。…私たちは協力するというような相互依存を築ける共同体としての教会との関係性を、深めていく事です。

最後に、魅力あるリーダーになる為には、共同体である兄弟姉妹に祈り支えられ、日々聖書を通してイエス様から学び合い、相互依存関係の中で育てていただく謙遜な信仰を持つ事ではないかと思えます。

祝福をお祈りしています。

ろう者信徒聖書学校 報告

二月十日（月）～十一日（火）の二日間、大阪府堺市の国際交流センター（ビッグ・アイ）で、ろう者信徒聖書学校が開かれました。今回の信徒聖書学校の科目は、「終末論」（井桁正巳先生）と「伝道論」（北澤成弘先生）でした。

ろう者信徒聖書学校の合格者は次の方々です。

【終末論】

半瀬 益弘 (福山)

半瀬 暁美 (福山)

坂井 光次 (明石)

【伝道論】

半瀬 益弘 (福山)

半瀬 暁美 (福山)

坂井 光次 (明石)

古川 公子 (阿南)

「終末論」の学び

担当 井桁 正巳

徳島神召キリスト教会
「終末論」の講義の受講者は三名でした。日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の終末論

の立場を学び、終末の備えについて理解を深めました。忙しい生活の中で、時間をささげて、ろう者信徒聖書学校を受講されます兄姉の姿を見ていますと、その熱心な姿を主が喜んでおられると感じる時が多々あります。ろう者信徒聖書学校では、信仰生活の基礎について学ぶことができます。まだ、信徒聖書学校の学びを経験されたことのない方は、受講されますことをお勧めいたします。

「伝道論」の学び

担当 北澤 成弘

岡山神召基督教会

受講者は熱心に学んでいました。語るべき内容や伝道の難しさを知ることが出来たと思います。「伝えよう」「証しよう」と決心して行動に起こす時に聖霊が助けて下さいます。伝道論を学んだ後に、生活の中で実践していくことが大切なことです。受講した兄姉たちが、主の良い証人になりますようにお祈りしています。



ろう者トレーニング スクール報告

ろう者信徒聖書学校と並行して、第一日目に聖会、二日目にはワークショップが開かれました。参加者は三七名でした。

今回は、山形聾者キリスト教会の松本英二牧師が担当して下さいました。松本先生は、「魅力あるリーダー」をテーマに、参加者が意見を発表し、また、話し合う事を通して、理解を深めさせて下さいました。

初日は、「良きサマリヤ人」の手話訳聖書を見ながら、良きサマリヤ人は、数多くの心のこもった愛の行動をしていることを学びました。

二日目はグループに分かれて、話し合いました。特に、良きリーダーは、人とのコミュニケーションをとるために、まず、相手の立場に立つて聞いてあげることが大切である、と言う事を、話し合いを通して、理解を深めることができました。

良き学びの時を感謝します。



トレーニングスクールの感想

杉江 弘美

名古屋神召キリスト教会

ハレルヤ！主の御名をほめた
たえます。

二月十日、十一日、大阪のビッグアイでのトレーニングスクールに参加しました。「魅力あるリーダーになるため」がテーマでした。山形聾者キリスト教会のろう牧師の松本英二先生が分かりやすく語ってくださいました。一節ずつの御言葉の中の一つの単語に対し、どう表現しているのかと、ワークショップで話し合いながら、お互いに学びました。とても面白かったです。このような学びを続けたいいな
なと思っております。
神に感謝します。



トレーニングスクールの感想

松本 美智

御影神愛キリスト教会

二月十一日からのトレーニングスクールに参加しました。今回は「魅力あるリーダーシップ」というテーマでした。五、六人ずつのグループに分かれて、松本英二先生からの質問を、一人一人がリーダーになった気持ちで、順番に答えるという形の講座でした。ワークショップ一、二、三と分けて、良きリーダーとなるために必要な事を学びました。

ワークショップの中で、よきサマリヤ人のお話が出てきて「『愛』はいくつありますか？」との質問がありました。

私は、三つか、四つかなと思いましたが、それ以上にあり、意外な答えにみんなびっくり



しました。見る、聞く、話すだけでなく、よきサマリヤ人のように愛をもって行動する事が大切だと思いました。

癒やしの証

支えてくださった

イエス様ありがとう！

三好 公雄

堺キリスト教会

正しい者の悩みは多い。しかし、【主】はそのすべてから彼を救い出される。

詩篇三四章一九節

十二年前のある日、自宅の隣にあるガレージの奥の下に、地下倉庫を私自身が建築する工事中に事故が起こった。

昼食を済ませて、作業を始めた最中、突然、別の世界に移動させられたような体験をした。

何だか寝辛いなと思いつつ目を開け「あれ？異様だな！一体ここはどこだろう」と薄暗く冷たいコンクリートに囲まれた

様で違和感を感じた。身体がだるくてやっと立ち上がり、目の前に、はしごが置いてあるのが見えた。無意識によじ登り一階に辿り着いた。そこは、見慣れない光景。無意識に戸をあけ部屋に這い上がった。見知らぬ女性と出会い、慌てる様子を目に
して、誰かなと思いつつながら、「今、何時？朝？夜？」と連発した。「ここはどこ？君誰？」と、うろろう。後から、また知らない男性と女性の2人が駆け込んで来て動揺。「あの二人は誰かな？」と思いつつながら、意味が不明のまま。(実は、それは私の妻、息子、娘だった)

さらに白いヘルメットをかぶった二人がやって来た。「なんでもここに来るの？何のためなの？」と、意味不明のまま、無理やり連行された。(実はそれは、救急隊だった)

気づいたら、病院にいらることが初めて分かり、すでに包帯姿でベッドに横渡っていた。しかし「どうしてこんな包帯姿になったのか、不思議で仕方がなかった。時計を見たらもう夜！」

★2020年全国ろう者聖会★

新型コロナウイルス感染拡大の為

2020年ろう者聖会は2021年に延期。

- ・日程 2021年8月11日（水）～13日（木）
- ・担当 四国地区
- ・聖会プログラム奉仕割り当て等は2020年と同様。

★第6回世界アッセンブリーろう者大会★

2020年世界大会は、2021年に延期。

- ・日程 2021年10月6日（水）～13日（水）
- ・第三次参加者を募集しますので、徳島の井桁師までご連絡下さい。

★前号エパタの訂正

・前号のエパタ2ページ、寺田文雄先生について「央聖書神学校理長」となっていますが、正しくは「中央聖書神学校理事長」です。

・また97号となっていました、正しくは99号です。

お詫びして訂正致します。

医者は頭部打撲による脳震盪、挫傷、右肩鎖関節脱臼と診断。退院し自宅に戻った後、現場へ行ってみたら、血が流れた後が残っていた。それで、一階から地下への転落事故だったことが判明した。しかしどうやって転落したか不明で、昼食をすませ作業にとりかかった所まで覚えているが、その後は空白で、どうなったのかは分からない。つまり転落しコンクリート床に強打、意識不明のまま、夕方まで長時間横たわっていたのだ。意識不明の私を、イエス様が

支えて、はしごを上らせて下さり、家族に知らせてくださったのである。

感謝！ハレルヤ。
現在も右肩の関節は、はずれたままの状態です。それでも感謝！



素晴らしき出会い①

内川寿造

私は、ろう者と関わって五十年になります。多くの素敵なろう者に出会いましたが、その中でも忘れられない二人を紹介したいと思います。

一人は最初に手話を教えてくれたT姉妹です。岡山教会に赴任して一年になる頃、手話にも慣れて来て、スラング（俗語）の手話を覚え得意顔でそれを使って皆を笑わせたのです。



すると、T姉妹は私を別室に連れて行き真剣な顔で、「先生は神のことばを手話で語る人です。悪い手話、汚い手話を使ってはいけません」と涙を流しながら私を戒めて下さったのです。それ以来、私は出来るだけ正確で美しい手話を使うように努力して来ました。

もう一人はH姉妹です。今では車で四十分の距離ですが、五十年前は電車とバスを乗り継いで二時間かけて、毎週休まず礼拝に来ていました。畑仕事をし、新鮮な野菜を毎週のように持つ

て来てくれました。「上手に作っているね」と私たちは感心しながら有難く頂いていました。

ある日、用事があって訪ねたのですが留守でした。田舎の事で鍵などかかっていません。私は何時ものように「ばあちゃん入るよ」と声をかけて家に入り、台所に向かいました。暑い日で喉が渇き水を飲ませてもらおうと思ったのです。一息ついて流し台の隅の転がっている野菜に気づきました。小さく曲がった

胡瓜や、穴だらけのジャガイモ、古びた人参。それを見た瞬間、「ああそうだったのか！」と分かりました。H

姉妹は最も良い野菜を私に下さり、自分は出来る悪いのを食べていたのです。私は思わずそこに膝まづき「なんと素晴らしい信徒が与えられて感謝です。献身の思いを新たに忠実に神と人に仕えます」と祈ったことを覚えていきます。

今は、二人とも天国に凱旋しましたが、私の心の中で生きています。